

～平成 28 年度臨床精神科作業療法研究会研修会～

「精神科作業療法の評価：臨床に活かすコツ」

「作業療法実施の視点や内容が定まらない」「報告書やサマリーのまとめに時間がかかる」「他職種に OT の意図がうまく伝わらない」。臨床の場でこんなことに困ることはありませんか？

対人援助はまずそのひとを「理解する」「知る」ことから始まります。精神科作業療法における援助の困難は、時に対象者と OT との理解（わかり方）に原因があるのかもしれませんが。

今回の研修会では、障害や障害がある人自身の思いとその能力、環境を理解するための「精神科作業療法の評価」と「臨床の実践に活かすコツ」についてとりあげ学んでいきたいと思います。

一日目は、「評価」に関する講義の後、実際の臨床事例を用いた演習を行って実践的な視点と方法を確認していきます。二日目は、精神科作業療法の事例を三時間じっくりと検討していきます。多くの方々と情報交換ができる貴重な機会にもなるかと思えます。ぜひご参加ください。

■日時：平成 28 年 11 月 12 日（土）・13 日（日）

■会場：東北福祉大学せんだんホスピタル 大会議室
仙台市青葉区国見ヶ丘 6 丁目 65 番 8 号

■プログラム

11 月 12 日（土） 13 時受付開始

13 時 30 分～14 時 30 分

講演「精神科作業療法の評価の視点（仮）」

講師：渥美 恵美（東北福祉大学健康科学部 教授 作業療法士）

14 時 40 分～16 時 40 分

臨床事例を用いての演習

18 時～ 懇親会

11 月 13 日（日） 8 時 30 分受付開始

9 時～12 時

公開症例検討会

「思考障害と認知機能障害により、環境適応能力が低下している事例」

事例提供者：鈴木 博行（川崎こころ病院 作業療法士）

スパーバザー：青山 宏（西九州大学大学院 教授 作業療法士）

《参加対象者》 保健・医療・福祉関係者（学生は会員による紹介が必要です）

《参加費》

12 日 講演会・演習 当会会員 2,000 円 非会員 3000 円 学生 500 円

13 日 公開症例検討会 2,000 円 3000 円 500 円

懇親会： 4,000 円（仙台駅前を予定しています）

※当研修会は日本作業療法士協会生涯教育ポイントの対象となります。

《申し込み方法》 ウラ面をご参照ください

